

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

各科目は、各学部等の定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：以下、「DP」）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：以下、「CP」）に基づき、カリキュラム上に配置されています。
 カリキュラム・マップでは、科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
 また、それらの到達目標が、DPとCPに基づき設定された学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかを示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。
 また、DP・CPを意識して科目の学修を進めることで、各学部等の期待する能力が養成されます。

対象入学年度	2018年度入学生
対象学部学科	法学部・経済学部・経営学部・現代中国学部・国際コミュニケーション学部
学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】 一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。 ②【大学教育導入】 大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。 ③【発展的思考・論理】 専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。 ④【外国語運用】 グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。 ⑤【情報処理】 進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。 ⑥【健康体力と身体運動】 生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
国際理解	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためのコミュニケーション能力を養成する。
地域理解 地域貢献	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を養成する。
日本理解 日本発信 (さくら21科目)	日本の政治や経済、社会、歴史などの基本的知識を身につけ、伝統文化や現代文化への理解を深め、対外的に日本を説明し、発信する力を養成する。 ※下表項目「日本発信 日本理解」のさくらマーク(🌸)がさくら21科目に該当。

※学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献との関連度合いを表しています。
 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連						国際理解	地域理解 地域貢献	日本発信
								①	②	③	④	⑤	⑥			
英語	NW000100	Communicative English I	必修	2年 (国コミのみ)	英語のスピーキング力を高め、英語で自然に意思疎通できるようになる。	語学	英語のみ	◎	◎	○	◎			◎		
	NW000200	Communicative English II	必修	2年 (国コミのみ)	英語のスピーキング力を高め、英語で自然に意思疎通できるようになる。	語学	英語のみ	◎	◎	○	◎			◎		
	NW000300	Reading I	必修	1年	英語の読解力を高め、様々なジャンルの英文を素早く正確に読むための基本的な語彙・文法・スキルを身に付けることができる。	語学		◎	◎	◎	◎			◎		
	NW000400	Reading II	必修	1年	英語の読解力を高め、様々なジャンルの英文を素早く正確に読むための基本的な語彙・文法・スキルを身に付けることができる。	語学		◎	◎	◎	◎			◎		
	NW000500	Reading III	必修	2年 (現中除く)	英語の読解力をさらに高め、様々なジャンルの英文を素早く正確に読むための語彙・文法・スキルを身に付けることができる。	語学		◎	○	◎	◎			◎		
	NW000600	Reading IV	必修	2年 (現中除く)	英語の読解力をさらに高め、様々なジャンルの英文を素早く正確に読むための語彙・文法・スキルを身に付けることができる。	語学		◎	○	◎	◎			◎		
	NW000700	Practical English	必修	現中：2年 その他：1年	英語の読解力を高め、自分から発信できるような英語の運用力を身に付けることができる。	語学		◎	○	○	◎			◎		
	NW000800	TOEIC I	必修	現中：2年 その他：1年	TOEIC形式の問題演習をとおり、英語で具体的な情報を聞き取ったり、概要や詳細な情報を正確に理解することができる。	語学		◎	○	○	◎			◎		
	NW000900	TOEIC II	選択	現中：3年 その他：2年	TOEIC形式の問題演習をとおり、さらに英語の読解力・読解力・運用力を向上させる。	講義		◎	○	○	◎			◎		
	NW001000	TOEIC III	選択	現中：3年 その他：2年	TOEIC形式の問題演習をとおり、さらに英語の読解力・読解力・運用力を向上させる。	講義		◎	○	○	◎			◎		
	NW001100	Current English I	選択	2年	新聞やニュース、インターネットなど、メディアの英語を素早く読み取り、その概要や詳細、論点を理解することができる。	講義		◎	○	◎	◎			◎		
	NW001200	Current English II	選択	2年	新聞やニュース、インターネットなど、メディアの英語を素早く読み取り、その概要や詳細、論点を理解することができる。	講義		◎	○	◎	◎			◎		
	NW001300	Writing I	選択	2年	英語のパラグラフ・ライティングの手法を身につけ、英語を英語母語話者の発想で書けるようになる。	講義		◎	○	◎	◎			◎		
	NW001400	Writing II	選択	2年	英語のパラグラフ・ライティングの手法を身につけ、英語を英語母語話者の発想で書けるようになる。	講義		◎	○	◎	◎			◎		
	NW001500	Advanced Reading I	選択	2年	より難易度の高い英文読解をとおり、英文の読解力を高め、様々なジャンルに応じた英文の読み方ができるようになる。	講義		◎	○	◎	◎			◎		
	NW001600	Advanced Reading II	選択	2年	より難易度の高い英文読解をとおり、英文の読解力を高め、様々なジャンルに応じた英文の読み方ができるようになる。	講義		◎	○	◎	◎			◎		
	NW001700	Communication Skills I	選択	1年	英語のスピーキング力をさらに高め、英語で効果的に意思疎通できるようになる。	講義	英語のみ	◎	○	○	◎			◎		
	NW001800	Communication Skills II	選択	1年	英語のスピーキング力をさらに高め、英語で効果的に意思疎通できるようになる。	講義	英語のみ	◎	○	○	◎			◎		
	NW001900	Communication Skills III	選択	2年	英語スピーキングの応用力を身につけ、英語で自然に意思疎通できるようになる。	講義	英語のみ	◎	○	○	◎			◎		
	NW002000	Communication Skills IV	選択	2年	英語スピーキングの応用力を身につけ、英語で自然に意思疎通できるようになる。	講義	英語のみ	◎	○	○	◎			◎		

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連						国際理解	地域貢献	日本発信
								①	②	③	④	⑤	⑥			
	NW002100	English Seminar I	選択	3年	英語の原書講読や英語を用いたプレゼンテーションなど、より高度な英語学習をとおして、英語の読解力・聴解力・文法力・スピーキング力を向上できる。	講義		◎	○	◎	◎			◎		
	NW002200	English Seminar II	選択	3年	英語の原書講読や英語を用いたプレゼンテーションなど、より高度な英語学習をとおして、英語の読解力・聴解力・文法力・スピーキング力を向上できる。	講義		◎	○	◎	◎			◎		
	NW002300	English Seminar III	選択	4年	英語の原書講読や英語を用いたプレゼンテーションなど、より高度な英語学習をとおして、英語の読解力・聴解力・文法力・スピーキング力を向上できる。	講義		◎	○	◎	◎			◎		
	NW002400	English Seminar IV	選択	4年	英語の原書講読や英語を用いたプレゼンテーションなど、より高度な英語学習をとおして、英語の読解力・聴解力・文法力・スピーキング力を向上できる。	講義		◎	○	◎	◎			◎		

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

各科目は、各学部等の定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：以下、「DP」）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：以下、「CP」）に基づき、カリキュラム上に配置されています。
カリキュラム・マップでは、科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
また、それらの到達目標が、DPとCPに基づき設定された学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかを示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。
また、DP・CPを意識して科目の学修を進めることで、各学部等の期待する能力が養成されます。

対象入学年度	2018年度入学生
対象学部学科	法学部・経済学部・経営学部・現代中国学部・国際コミュニケーション学部

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑥【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
国際理解	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためのコミュニケーション能力を養成する。	
地域理解 地域貢献	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を養成する。	
日本理解 日本発信 (さくら21科目)	日本の政治や経済、社会、歴史などの基本的知識を身につけ、伝統文化や現代文化への理解を深め、対外的に日本を説明し、発信する力を養成する。 ※下表項目「日本発信 日本理解」のさくらマーク(※)がさくら21科目に該当。	

※学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献との関連度合いを表しています。
(◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連						国際理解	地域理解 地域貢献	日本発信
								①	②	③	④	⑤	⑥			
ドイツ語	NW002500	ドイツ語入門Ⅰ	必修	1年	正しい発音・アクセントでドイツ語文を読むことができる。また基本的な文法・語句を理解し、文の内容を理解・表現できる。	語学		◎	○		○			◎	◎	
	NW002600	ドイツ語入門Ⅱ	必修	1年	正しい発音・アクセントでドイツ語文を読むことができる。また基本的な文法・語句を理解し、文の内容を理解・表現できる。	語学		◎	○		○			◎	◎	
	NW002700	ドイツ語基礎Ⅰ	必修	1年	正しい発音・アクセントでドイツ語文を読むことができる。また基本的な文法・語句を理解し、文の内容を理解・表現できる。	語学		◎	○		○			◎	◎	
	NW002800	ドイツ語基礎Ⅱ	必修	1年	正しい発音・アクセントでドイツ語文を読むことができる。また基本的な文法・語句を理解し、文の内容を理解・表現できる。	語学		◎	○		○			◎	◎	
	NW002900	ドイツ語応用Ⅰ	選択	2年	初級を終えて次のステップに相応しい文法・読み・聞き取り・作文能力を習得する。またドイツで日常生活に役立つドイツ語能力を身に付けることができる。	講義		○		○	◎			◎	◎	
	NW003000	ドイツ語応用Ⅱ	選択	2年	初級を終えて次のステップに相応しい文法・読み・聞き取り・作文能力を習得する。またドイツで日常生活に役立つドイツ語能力を身に付けることができる。	講義		○		○	◎			◎	◎	
	NW003100	ドイツ語演習Ⅰ	選択	2年	基本的な文法や語彙を理解し、より深く外国語を理解・表現できる能力を身に付けることができる。またその言語の背景にある文化についての理解を深めることができる。	演習		○		○	◎			◎	◎	
	NW003200	ドイツ語演習Ⅱ	選択	2年	基本的な文法や語彙を理解し、より深く外国語を理解・表現できる能力を身に付けることができる。またその言語の背景にある文化についての理解を深めることができる。	演習		○		○	◎			◎	◎	
	NW003300	ドイツ語演習Ⅲ	選択	3年	基本的な文法や語彙を理解し、より深く外国語を理解・表現できる能力を身に付けることができる。またその言語の背景にある文化についての理解を深めることができる。	演習		○		○	◎			◎	◎	
	NW003400	ドイツ語演習Ⅳ	選択	3年	基本的な文法や語彙を理解し、より深く外国語を理解・表現できる能力を身に付けることができる。またその言語の背景にある文化についての理解を深めることができる。	演習		○		○	◎			◎	◎	
	NW003500	ドイツ語演習Ⅴ	選択	4年	基本的な文法や語彙を理解し、より深く外国語を理解・表現できる能力を身に付けることができる。またその言語の背景にある文化についての理解を深めることができる。	演習		○		○	◎			◎	◎	
NW003600	ドイツ語演習Ⅵ	選択	4年	基本的な文法や語彙を理解し、より深く外国語を理解・表現できる能力を身に付けることができる。またその言語の背景にある文化についての理解を深めることができる。	演習		○		○	◎			◎	◎		
フラン	NW003700	フランス語入門Ⅰ	必修	1年	フランス語の基本的な口語表現ができる。	語学		○	○		◎			◎	◎	
	NW003800	フランス語入門Ⅱ	必修	1年	フランス語の基本的な口語表現ができる。	語学		○	○		◎			◎	◎	
	NW003900	フランス語基礎Ⅰ	必修	1年	フランス語の基礎的な文法を理解することができる。	語学		○	○		◎			◎	◎	
	NW004000	フランス語基礎Ⅱ	必修	1年	フランス語の基礎的な文法を理解することができる。	語学		○	○		◎			◎	◎	
	NW004100	フランス語応用Ⅰ	選択	2年	フランス語で表現する能力をさらに身に付けることができる。	講義		○		○	◎			◎	◎	
	NW004200	フランス語応用Ⅱ	選択	2年	フランス語で表現する能力をさらに身に付けることができる。	講義		○		○	◎			◎	◎	

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連						国際理解	地域貢献	地域理解	日本発信
								①	②	③	④	⑤	⑥				
フランス語	NW004300	フランス語演習Ⅰ	選択	2年	フランス語の総合的な能力を身に付けることができる。	演習		○	○	◎				◎	◎		
	NW004400	フランス語演習Ⅱ	選択	2年	フランス語の総合的な能力を身に付けることができる。	演習		○	○	◎				◎	◎		
	NW004500	フランス語演習Ⅲ	選択	3年	フランス語の総合的な能力を身に付けることができる。	演習		○	○	◎				◎	◎		
	NW004600	フランス語演習Ⅳ	選択	3年	フランス語の総合的な能力を身に付けることができる。	演習		○	○	◎				◎	◎		
	NW004700	フランス語演習Ⅴ	選択	4年	フランス語の総合的な能力を身に付けることができる。	演習		○	○	◎				◎	◎		
	NW004800	フランス語演習Ⅵ	選択	4年	フランス語の総合的な能力を身に付けることができる。	演習		○	○	◎				◎	◎		
中国語	NW004900	中国語入門Ⅰ	必修	1年	正しく発音ができ、初歩的な会話ができる。	語学		○	◎	○				◎	◎		
	NW005000	中国語入門Ⅱ	必修	1年	正しく発音ができ、簡単な日常会話ができる。	語学		○	◎	○				◎	◎		
	NW005100	中国語基礎Ⅰ	必修	1年	初歩的な文法を身に付けることができる。	語学		○	◎	○				◎	◎		
	NW005200	中国語基礎Ⅱ	必修	1年	文法に基づいて、簡単な中国語の「読み・書き」ができる。	語学		○	◎	○				◎	◎		
	NW005300	中国語応用Ⅰ	選択	2年	一年次で学習した内容を基礎に、聴く能力・話す能力および読解力を高めることができる。	講義		○	○	◎				◎	◎		
	NW005400	中国語応用Ⅱ	選択	2年	一年次で学習した内容を基礎に、聴く能力・話す能力および読解力を更に高めることができる。	講義		○	○	◎				◎	◎		
	NW005500	中国語演習Ⅰ	選択	2年	中国語への関心を高めることによって、総合的な中国語コミュニケーション能力の向上を目指す。	演習		○		◎				◎	◎		
	NW005600	中国語演習Ⅱ	選択	2年	中国語への関心を高めることによって、総合的な中国語コミュニケーション能力の向上を目指す。	演習		○		◎				◎	◎		
	NW005700	中国語演習Ⅲ	選択	3年	中国語への関心を高めることによって、総合的な中国語コミュニケーション能力の更なる向上を目指す。	演習		○		◎				◎	◎		
	NW005800	中国語演習Ⅳ	選択	3年	中国語への関心を高めることによって、総合的な中国語コミュニケーション能力の更なる向上を目指す。	演習		○		◎				◎	◎		
	NW005900	中国語演習Ⅴ	選択	4年	中国語への関心を高めることによって、総合的な中国語コミュニケーション能力の更なる向上を目指す。	演習		○		◎				◎	◎		
	NW006000	中国語演習Ⅵ	選択	4年	中国語への関心を高めることによって、総合的な中国語コミュニケーション能力の更なる向上を目指す。	演習		○		◎				◎	◎		
韓国・朝鮮語	NW006100	韓国・朝鮮語入門Ⅰ	必修	1年	ハングル文字の読み書きができる。	語学		◎	○					◎	◎		
	NW006200	韓国・朝鮮語入門Ⅱ	必修	1年	名詞文・用言文の習得と会話への適用ができる。	語学			◎	○				◎	◎		
	NW006300	韓国・朝鮮語基礎Ⅰ	必修	1年	ハングル文字、初歩文法を習得できる。	語学		◎	○					◎	◎		
	NW006400	韓国・朝鮮語基礎Ⅱ	必修	1年	初歩文法を完成し、ヘヨ体を中心とした「用言活用」が習得できる。	語学			◎	○				◎	◎		
	NW006500	韓国・朝鮮語応用Ⅰ	選択	2年	基礎会話・読解練習を中心に、不規則用言が習得できる。	講義				◎	○			◎	◎		
	NW006600	韓国・朝鮮語応用Ⅱ	選択	2年	基礎会話・読解練習を中心に、不規則用言が習得できる。	講義				◎	○			◎	◎		
	NW006700	韓国・朝鮮語演習Ⅰ	選択	2年	中級文法の会話・読解などへ応用することができる。	演習			△	◎	○			◎	◎		
	NW006800	韓国・朝鮮語演習Ⅱ	選択	2年	中級文法の会話・読解などへ応用することができる。	演習			△	◎	○			◎	◎		
	NW006900	韓国・朝鮮語演習Ⅲ	選択	3年	上級文法の学習と会話・読解などへ応用することができる。	演習			△	◎	○			◎	◎		
	NW007000	韓国・朝鮮語演習Ⅳ	選択	3年	上級文法の学習と会話・読解などへ応用することができる。	演習			△	◎	○			◎	◎		
	NW007100	韓国・朝鮮語演習Ⅴ	選択	4年	上級文法の学習と会話・読解などへ応用することができる。	演習			△	◎	○			◎	◎		
	NW007200	韓国・朝鮮語演習Ⅵ	選択	4年	上級文法の学習と会話・読解などへ応用することができる。	演習			△	◎	○			◎	◎		

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語する	学習・教育目標との関連						国際理解	地域貢献	日本発理解
								①	②	③	④	⑤	⑥			
ロシア語	NW007300	ロシア語入門Ⅰ	必修	1年	文字を中心に、ロシア語文法の基礎を理解する。	語学		◎	○		◎			◎	◎	
	NW007400	ロシア語入門Ⅱ	必修	1年	文字を中心に、ロシア語文法の基礎を理解する。	語学		◎	○		◎			◎	◎	
	NW007500	ロシア語基礎Ⅰ	必修	1年	発音を中心に、初級会話表現を覚える。	語学		○	○		◎			◎	◎	
	NW007600	ロシア語基礎Ⅱ	必修	1年	発音を中心に、初級会話表現を覚える。	語学		○	○		◎			◎	◎	
	NW007700	ロシア語応用Ⅰ	選択	2年	文法表と辞書の使い方を習得する。	演習		◎	○		◎			◎	◎	
	NW007800	ロシア語応用Ⅱ	選択	2年	文法表と辞書の使い方を習得する。	演習		◎	○		◎			◎	◎	
	NW007900	ロシア語演習Ⅰ	選択	2年	ロシア語独自の発想を学び、自分についてロシア語で話すことができるようになる。	演習		○	○		◎			◎	◎	
	NW008000	ロシア語演習Ⅱ	選択	2年	ロシア語独自の発想を学び、自分についてロシア語で話すことができるようになる。	演習		○	○		◎			◎	◎	
	NW008100	ロシア語演習Ⅲ	選択	3年	中級以上のロシア語会話能力を習得する。	演習		○	○		◎			◎	◎	
	NW008200	ロシア語演習Ⅳ	選択	3年	中級以上のロシア語会話能力を習得する。	演習		○	○		◎			◎	◎	
	NW008300	ロシア語演習Ⅴ	選択	4年	中級以上のロシア語会話能力を習得する。	演習		○	○		◎			◎	◎	
	NW008400	ロシア語演習Ⅵ	選択	4年	中級以上のロシア語会話能力を習得する。	演習		○	○		◎			◎	◎	
タイ語	NW008500	タイ語入門Ⅰ	必修	1年	タイ語文法の基礎を理解する。	語学		◎	◎		◎			◎	◎	
	NW008600	タイ語入門Ⅱ	必修	1年	タイ語文法の基礎を理解する。	語学		○	○		◎			◎	◎	
	NW008700	タイ語基礎Ⅰ	必修	1年	文字を中心に、タイ語の基礎を理解する。	語学		◎	◎		◎			◎	◎	
	NW008800	タイ語基礎Ⅱ	必修	1年	文字を中心に、タイ語の基礎を理解する。	語学		○	○		◎			◎	◎	
	NW008900	タイ語応用Ⅰ	選択	2年	タイ語文法を理解し、応用できるようになる。	演習				○	◎			◎	◎	
	NW009000	タイ語応用Ⅱ	選択	2年	タイ語文法を理解し、応用できるようになる。	演習				○	◎			◎	◎	
	NW009100	タイ語演習Ⅰ	選択	2年	タイ語の読解に慣れ親しむ。	演習				○	◎			◎	◎	
	NW009200	タイ語演習Ⅱ	選択	2年	タイ語の読解に慣れ親しむ。	演習				○	◎			◎	◎	
	NW009300	タイ語演習Ⅲ	選択	3年	タイ語の読解に慣れ親しむ。	演習				○	◎			◎	◎	
	NW009400	タイ語演習Ⅳ	選択	3年	タイ語の読解に慣れ親しむ。	演習				○	◎			◎	◎	
	NW009500	タイ語演習Ⅴ	選択	4年	タイ語の読解に慣れ親しむ。	演習				○	◎			◎	◎	
	NW009600	タイ語演習Ⅵ	選択	4年	タイ語の読解に慣れ親しむ。	演習				○	◎			◎	◎	
日本語	NW009700	日本語Ⅰ	必修	1年	大学の授業を受講するのに必要な、入門レベルのアカデミック・スキルを身に付ける。	語学		○	◎		◎			◎	◎	
	NW009800	日本語Ⅱ	必修	1年	大学の授業を受講するのに必要な、入門レベルのアカデミック・スキルを身に付ける。	語学		○	◎		◎			◎	◎	
	NW009900	日本語Ⅲ	必修	1年	大学の授業を受講するのに必要な、論理的な表現力を身に付ける。	語学		○	◎		◎			◎	◎	
	NW010000	日本語Ⅳ	必修	1年	大学の授業を受講するのに必要な、論理的な表現力を身に付ける。	語学		○	◎		◎			◎	◎	
	NW010100	日本語Ⅴ	必修	2年	文章の内容を正確に理解して要約や意見を述べる力を身に付ける。	語学			○	○	◎			◎	◎	
	NW010200	日本語Ⅵ	必修	2年	文章の内容を正確に理解し、関連した情報を収集しまとめる力を身に付ける。	語学			○	○	◎			◎	◎	

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語とする	学習・教育目標との関連						国際理解	地域貢献理解	日本発信
								①	②	③	④	⑤	⑥			
日本語	NW010300	日本語Ⅶ	必修	2年	発表や討論等を通じて、総合的な日本語運用能力を身に付ける。	語学			○	○	◎			◎	◎	
	NW010400	日本語Ⅵ	必修	2年	資料を引用して論拠を示すレポートを作成し、総合的な日本語運用能力を身に付ける。	語学			○	○	◎			◎	◎	
	NW010500	専門日本語Ⅰ	選択	3年	論理的な文章を構成し、聞き手を意識した発表を行う能力を身に付ける。	講義		○		◎	◎			◎	◎	
	NW010600	専門日本語Ⅱ	選択	3年	自分で発見した問題について客観的な資料に基づいて論文を作成し、自分の主張を効果的に伝えられる能力を身に付ける。	講義		○		◎	◎			◎	◎	
	NW010700	ビジネス日本語Ⅰ	選択	3年	就職活動に関連する場面での対人関係を考慮した会話能力を身に付ける。	講義		○			◎			◎	◎	
	NW010800	ビジネス日本語Ⅱ	選択	3年	ビジネス場面での対人関係と状況を考慮した会話能力を身に付ける。	講義		○			◎			◎	◎	
	NW010900	日本事情Ⅰ	選択	1年	日本社会や日本人への理解を深めることができる。	講義		◎	○		○			◎	◎	✿
	NW011000	日本事情Ⅱ	選択	1年	日本社会や日本人への理解を深めることができる。	講義		◎	○		○			◎	◎	✿

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

各科目は、各学部等の定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：以下、「DP」）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：以下、「CP」）に基づき、カリキュラム上に配置されています。
カリキュラム・マップでは、科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
また、それらの到達目標が、DPとCPに基づき設定された学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。
また、DP・CPを意識して科目の学修を進めることで、各学部等の期待する能力が養成されます。

対象入学年度	2018年度入学生
対象学部学科	法学部・経済学部・経営学部・現代中国学部・国際コミュニケーション学部
学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】 一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。 ②【大学教育導入】 大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。 ③【発展的思考・論理】 専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的な思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。 ④【外国語運用】 グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。 ⑤【情報処理】 進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。 ⑥【健康体力と身体運動】 生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
国際理解	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためのコミュニケーション能力を養成する。
地域理解 地域貢献	多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を養成する。
日本理解 日本発信 (さくら21科目)	日本の政治や経済、社会、歴史などの基本的知識を身につけ、伝統文化や現代文化への理解を深め、対外的に日本を説明し、発信する力を養成する。 ※下表項目「日本発信 日本理解」のさくらマーク(☀)がさくら21科目に該当。

※学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献との関連度合いを表しています。
(◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連						国際理解	地域貢献	日本発信
								①	②	③	④	⑤	⑥			
数理・情報	NW011900	数理学入門	選択	1年	数学のテーマを通じて論理的思考を体得し、思考の過程を基本的な数式を用いて表現できるようになる。	講義		○	◎							
	NW012000	数理学基礎	選択	1年	数学のテーマを通じて論理的思考を体得し、思考の過程を少し高度な数式を用いて表現できるようになる。	講義		○	◎							
	NW012100	確率論入門	選択	1年	不確実な事象や確率の意味を理解し、基本的な確率計算ができるようになる。	講義		○	◎							
	NW012200	確率論基礎	選択	1年	試行回数を増やした時の偶然変動（大数の法則や中心極限定）が理解できる。	講義		○		◎						
	NW012300	統計学入門	選択	1年	数値データの基本的な統計処理技術が身に付き、処理結果の解釈ができる。	講義		○	◎							
	NW012400	統計学基礎	選択	1年	母平均などの推定と検定を行うことができる。	講義		○		◎						
	NW012500	プレゼンテーション技術	選択	1年	効果的なプレゼンテーションを行うための基礎知識と技術が身に付く。	実習			○			◎				
	NW012600	マルチメディア表現法	選択	1年	マルチメディア作品を制作するための基礎知識と技術が身に付く。	実習		○				◎				
	NW012700	情報倫理	選択	1年	ネットワーク社会を生きるために必要な倫理、及びその基礎理論・知識が身に付く。	講義		◎	○							
	NW012800	社会データ分析入門	選択	1年	実社会で活かせるデータ分析を行うための基礎知識と技術が身に付く。	実習				◎		○				
	NW012900	情報の科学	選択	1年	デジタルデータの分析や編集を行うための基礎知識と技術が身に付く。	講義		○				◎				
	NW013000	情報と社会	選択	1年	広義の意味での情報リテラシーが身に付く。	講義		◎	△	○						
	NW013100	コンピュータ科学の基礎	選択	1年	コンピュータ及びこれを利用するシステムに関する基礎理論と知識が身に付く。	講義		○				◎				
	NW013200	プログラミング	選択	1年	プログラムの基本的な構造を理解し、目的に合わせたコードを実装できるようになる。	実習			○			◎				
	NW013300	情報リテラシー・入門	選択	1年	学生生活や学習を効果的に進めるための基本的な情報リテラシーが身に付く。	実習			○			◎				
NW013400	情報リテラシー・応用	選択	1年	論文作成などに活用できる総合的な情報リテラシーが身に付く。	実習			○			◎					
NW013500	科学と社会	選択	1年	自然科学と社会との関係についての理解が深まる。	講義		◎	△	◎							

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語とする	学習・教育目標との関連						国際理解	地域貢献	日本理解
								①	②	③	④	⑤	⑥			
自然	NW013600	宇宙の科学	選択	1年	太陽系と銀河系のしくみや、宇宙の誕生と発展に関する基礎的な知識が身に付く。	講義		◎	△	◎						
	NW013700	地球の科学	選択	1年	地球の成り立ちについての基礎的な知識が身に付く。	講義		◎	△	◎						
	NW013800	物質の科学	選択	1年	身近な物質を化学的な視点で捉えられるようになるための基礎的な知識・考え方が身に付く。	講義		◎	△	◎						
	NW013900	エネルギーと社会	選択	1年	物質資源・エネルギー資源についての科学的な理解が深まる。	講義		◎	△	◎						
	NW014000	環境の科学	選択	1年	地球温暖化のメカニズムを理解し、今後の地球環境を自ら考える力を身に付ける。	講義		◎	△	◎						
	NW014100	環境と都市	選択	1年	災害の発生メカニズムを理解し、災害と都市の関係を理解することができる。	講義		◎	△	◎						◎
	NW014200	生命の科学	選択	1年	生物の体内構造や生理メカニズムを分子レベルで理解するための基礎的な知識・考え方を習得する。	講義		◎	△	◎						
	NW014300	生物コミュニケーション	選択	1年	ヒトを含めた生物のコミュニケーションの進化と多様性についての基礎的な知識が身に付く。	講義		◎	△	◎						
	NW014400	健康と運動の科学	選択	1年	正しい運動実践による体力・健康づくりを実践できる力が身に付く。	講義		○	△				◎			
	NW014500	健康と栄養	選択	1年	科学的な根拠のある健康栄養情報を評価して判断することや自分自身の食事の栄養調査を実施して食生活における栄養摂取を考え改善することができる。	講義		○	△	○			◎			◎
NW014600	スポーツの科学	選択	1年	さまざまなスポーツを科学的な視点から分析することができる。スポーツを『みる立場』から考えられることができる。	講義		○	△				◎				
社会	NW014700	憲法学入門	選択	1年	憲法の原理原則に照らして現実社会のさまざまな人権問題・憲法問題を考えることができるようになる。	講義		◎	△	○						
	NW014800	法学入門	選択	1年	法学の基礎的な知識が身に付く。	講義		◎	△	○						
	NW014900	政治学入門	選択	1年	政治学における基本的な知識（制度、歴史、学説、理論）が身に付く。	講義		◎	△	○						
	NW015000	経済学入門	選択	1年	グローバル化という重要な社会経済現象の内容を広く深く理解できるようになる。	講義		◎	△	○						◎
	NW015100	国際関係論	選択	1年	国際的な諸事象について詳細に認識し、理解できる。	講義		◎	△	△			◎			◎
	NW015300	現代社会論	選択	1年	現代社会における諸問題を多方面から考えられる視点を獲得することができる。	講義		◎	△	○						◎
	NW015200	社会学入門	選択	1年	働いて得た収入や学んで得た情報を、他社と共に社会を作ることにかかわる人が社会人であり、その理由をともに学び活かすことができる。	講義		◎	△	○						
	NW015400	社会思想史	選択	1年	国家およびその法律に、市民社会に由来する普遍的叡智が凝縮されていることを理解することができる。	講義		◎	△	○						
	NW015500	歴史学入門	選択	1年	歴史学の基礎的な学力を養成することを目標とする。	講義		◎	△	○						◎
	NW015600	経営学入門	選択	1年	経営学の基礎的な理論、概念を学び、多様な企業の経営実践の背後にある論理を理解できる。	講義		◎	△	○						
	NW015700	哲学	選択	1年	哲学の基礎知識を身に付けることができる。	講義		◎	△	○						
	NW015800	現代の思想	選択	1年	さまざまな現代思想を理解し身に付けることができる。	講義		◎	△	○						
	NW015900	言語と人間	選択	1年	言葉と人間の関わり方の課題や研究を通じ、問題発見と解決のためのプロセスを身に付けることができる。	講義		◎	△	○						
	NW016000	民族と文化	選択	1年	ヒトと「文明」の発生、変化に関する最新の研究情報を学び、論理的に考える力を身に付けることができる。	講義		◎	△	○			○			
	NW016100	民族と国家	選択	1年	人間社会の多様性や国際社会を理解するための基礎的な教養を身に付けることができる。	講義		◎	△	○			◎			
	NW016200	社会と宗教	選択	1年	宗教の性格と社会の有様との関連を理解し、主体的に宗教について考えるための基礎知識および方法を習得することができる。	講義		◎	△	○						◎
	NW016300	心理学	選択	1年	心理学に関する基礎的な知識と、科学的な思考を修得することができる。	講義		◎	△	○						

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連						国際理解	地域貢献	日本発信		
								①	②	③	④	⑤	⑥					
人文	NW016400	異文化コミュニケーション	選択	1年	身の回りの諸問題に関心を持ち、他者に配慮する意識を持つことができるようになる。	講義		◎	△	○					◎		◎	
	NW016500	倫理学通論	選択	1年	倫理学の基本的な思想を理解し身に付けることができる。	講義		◎	△	○								
	NW016600	文学と人間（東洋）	選択	1年	社会生活をするうえでの必要な教養および心豊かに生きていく力を身に付けることができる。	講義		◎	△	○				○				
	NW016700	文学と人間（西洋）	選択	1年	文芸理論、文学解釈を通して、ものごとを複眼的な視点から検討する力を身に付けることができる。	講義		◎	△	○				○				
	NW016800	美術と人間	選択	1年	対象について基本的な知識を持ち、正しく理解することができる。	講義		◎	△	○				○				
	NW016900	映画と人間	選択	1年	中国などの東アジア映画作品の特徴をつかみ、社会的背景を理解する。	講義		◎	△	○				○				
	NW017000	音楽と人間	選択	1年	音楽と人間の関わりを通じ、19世紀ヨーロッパ市民社会と国民国家の形成を理解する。	講義		◎	△	○				○				
	NW017100	演劇と人間	選択	1年	演劇の世界を理解することができる。	講義		◎	△	○				○				
総合		総合科目 ※1 さくら21科目は、総合科目8、12、14に限る	選択	1年	様々なテーマを専門的視野から考察することで、総合的思考能力を身に付けることができる。	講義		○	△	◎							◎	
	NW019200	総合演習Ⅰ	選択	2年	現代的諸問題や市民的教養としての諸テーマの考察を通じ、論理的思考能力やプレゼンテーション能力を身に付けることができる。	演習		○	△	◎								
	NW019300	総合演習Ⅱ	選択	2年	現代的諸問題や市民的教養としての諸テーマの考察を通じ、論理的思考能力やプレゼンテーション能力を身に付けることができる。	演習		○	△	◎								
	NW019400	総合演習Ⅲ	選択	3年	現代的諸問題や市民的教養としての諸テーマの考察を通じ、論理的思考能力やプレゼンテーション能力を身に付けることができる。	演習		○	△	◎								
	NW019500	総合演習Ⅳ	選択	3年	現代的諸問題や市民的教養としての諸テーマの考察を通じ、論理的思考能力やプレゼンテーション能力を身に付けることができる。	演習		○	△	◎								
	NW019600	キャリアデザイン基礎	選択	1年	キャリアに関する視点や理論を学ぶことで、自分自身のキャリアデザインを描き出し、その実現に向けた計画力を身に付けることができる。	講義		○	◎	△						△		
	NW019700	キャリアデザイン応用	選択	2年	キャリアや労働などが持つ意味を多面的領域から考察することを通じ、キャリアに対する客観的な理解力と主体的な姿勢を身に付けることができる。	講義		◎	○	△						△		
		キャリアデザイン特殊講義	選択	2年	特定分野のキャリア等について学ぶことを通じ、自分自身のキャリア形成意欲を高め、将来に対して明確な目標と方向性を持ち、その実現に向けた思考力を身に付けることができる。	講義		○	△	◎						△		
	NW020800	日本理解Ⅰ	選択	1年	日本の政治、経済、社会、歴史等の基本的知識を身に付け、日本の伝統文化から新しい文化まで幅広く理解することができる。	講義		◎	△					◎	◎			
	NW020900	日本理解Ⅱ	選択	1年	近年の社会課題（ソーシャル・イシュー）の分析を通じ、現代日本への理解を深めることができる。	講義		◎	△					◎	◎			
	NW021000	日本発信基礎	選択	2年	学内の多文化共生を目指す活動の企画・運営を通じ、日本発信力や異文化コミュニケーション・スキルを高めることができる。	実習		◎		△	△			◎	◎			
	NW021100	日本発信応用	選択	2年	地域の多文化共生や外国人観光客誘致等をテーマに日本発信の実習を行い、異文化コミュニケーション・スキル等を高めることができる。	実習		◎		△	△			◎	◎			
	NW021500	データサイエンス入門 ※ 2022年度以降入学生が履修可能	選択	1年	AI・データサイエンスの必要性を説明できる。	講義		◎		△	○							
体育分野	NW021200	スポーツ・健康演習	必修	1年	生活習慣病予防のための基礎知識と生涯スポーツの正しい運動実践能力が身に付く。	演習		○	○				◎					
	NW021300	スポーツ実技Ⅰ	選択	1年	スポーツ実践の基礎的な技能から応用的な技能が身に付く。	実技		○					◎					
	NW021400	スポーツ実技Ⅱ	選択	2年	スポーツ実践の基礎的な技能から応用的な技能が身に付く。	実技		○					◎					

カリキュラム・マップ（法学部）

【カリキュラム・マップの目的】

各科目は、各学部等の定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：以下、「DP」）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：以下、「CP」）に基づき、カリキュラム上に配置されています。
 カリキュラム・マップでは、科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
 また、それらの到達目標が、DPとCPに基づき設定された学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学習に必要な科目選択が可能となります。
 また、DP・CPを意識して科目の学修を進めることで、各学部等の期待する能力が養成されます。

対象入学年度	2018年度入学生
対象学部学科	法学部 法学科
学習・教育目標	①法や政治についての基本的・基礎的な知識・考え方を習得して、社会正義や人権について理解することができる。 ②市民社会における法や政治に関する問題を見出し、法学的・政治学的視点からそれらの問題を分析して、検討することができる。 ③国や地方における法や政治に関する問題を見出し、法学的・政治学的視点からそれらの問題を分析して、検討することができる。 ④わが国の司法制度を前提とした専門的な視点から社会のさまざまな分野・領域で発生する問題を分析し、法規範および法的諸原則に則ってそれらの問題に対する解決策を検討することができる。 ⑤国際的な観点からわが国および国際社会における法や政治に関する問題を見出し、それらの問題を分析して、検討することができる。 ⑥法や政治に関する文献・資料を読み解くこと、それらに関する文章を正確に書くこと、および、それらに関する事項を他人に伝えそして議論することができる。
国際理解	国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためのコミュニケーション能力を養成する。
地域理解 地域貢献	多用な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を養成する。
日本理解 日本発信 (さくら21科目)	日本の政治や経済、社会、歴史などの基本的知識を身につけ、伝統文化や現代文化への理解を深め、対外的に日本を説明し、発信する力を養成する。 ※下表項目「日本発信 日本理解」のさくらマーク(🌸)がさくら21科目に該当。

※学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献との関連度合いを表しています。
 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	主に使用する言語	学習・教育目標との関連						国際理解	地域理解 地域貢献	日本発信
								①	②	③	④	⑤	⑥			
基礎法部門	JX000100	法哲学Ⅰ	選択	3年	法についての批判的・哲学的思考力を養成することができる。	講義		◎	○	○	◎					
	JX000200	法哲学Ⅱ	選択	3年	法についての批判的・哲学的思考力を養成することができる。	講義		◎	○	○	◎					
	JX000300	法思想史Ⅰ	選択	2年	法についての基本的な考え方を過去から学ぶ。	講義		◎	○	○	○					
	JX000400	法思想史Ⅱ	選択	2年	法についての基本的な考え方を過去から学ぶ。	講義		◎	○	○	○					
	JX000500	法社会学Ⅰ	選択	3年	法と社会について様々な観点から考察する法社会学を学ぶことで、法解釈学とは異なるパースペクティブから法を理解し考えることができるようになる。	講義		◎	○	○	○					
	JX000600	法社会学Ⅱ	選択	3年	現代の科学技術問題を素材に、現在進行中の問題から、変わりゆく法の姿をリアルタイムで捉えていく。	講義		◎	○	○	○					
	JX000700	西洋法制史Ⅰ	選択	3年	六法に掲載されている（日本）現行法の重要な規定の背後に、ローマ法に由来するヨーロッパ法文化の裏づけがあるということを理解できる。	講義		◎	○	◎	○	◎		◎		
	JX000800	西洋法制史Ⅱ	選択	3年	六法に掲載されている（日本）現行法の重要な規定の背後に、ローマ法に由来するヨーロッパ法文化の裏づけがあるということを理解できる。	講義		◎	○	◎	○	◎		◎		
	JX000900	日本法制史Ⅰ	選択	2年	日本法制史に関わる史料の講読と、古今東西の法の基礎を理解することができる。	講義		◎	◎	○	○				🌸	
	JX001000	日本法制史Ⅱ	選択	2年	現代日本法が世界史的文脈の中で成立していることが把握できる。	講義		◎	◎	○	○		○		🌸	
	JX001100	比較法Ⅰ	選択	2年	一定の基準に基づいて複数の法体系を比較分類できること、英米法系と大陸法系の共通点と相違点を思いだせること、および世界的な指標で法の動向を分析できる視点をもつことができる。	講義		○	○	◎	○	◎		◎		🌸
	JX001200	比較法Ⅱ	選択	2年	現在進行形で変化しつつあるEUを法的側面から正確に理解できる。EU法に特殊な法概念や法制度に関する知識を使って、複雑なEU法の基本構造を正しく説明できる。	講義		○	○	◎	○	◎		◎		🌸
	JX001300	外国法Ⅰ	選択	3年	フランス第五共和制の統治機構に顕著な特徴を客観的に把握できる。日本には無いが諸外国ではしばしば採用されている制度について正確な知識をもつ。同時に、執行府・立法府の機能など、日本法と共通する点についても正しく理解できる。フランス法との比較を通じて日本法を客観的に捉えることができる。	講義		○	○	◎	○	◎		◎		
	JX001400	外国法Ⅱ	選択	3年	フランスの立法や判例を学ぶことを通じて、フランスに固有な法概念や法的思考方法を理解した上で、それらをもとに日本法を客観的に見直すことができる。	講義		○	○	◎	○	◎		◎		
	JX001500	中国法Ⅰ	選択	3年	中国法の概要及び特徴を理解する。	講義		○	○	◎	△	○		○		
JX001600	中国法Ⅱ	選択	3年	中国ビジネス法及びその実践について理解する。	講義		○	○	△	◎		◎				
JX001700	憲法・基本的人権Ⅰ	全員履修	1年	憲法の原理原則に照らして現実社会のさまざまな人権問題を考えていけるようになる。	講義		◎	◎	○	◎	○	△			🌸	
JX001800	憲法・基本的人権Ⅱ	全員履修	1年	憲法の原理原則に照らして現実社会のさまざまな人権問題を考えていけるようになる。	講義		◎	◎	○	◎	○	△			🌸	
JX001900	憲法・統治機構Ⅰ	全員履修	1年	憲法の統治機構に関する基本的な知識をえることができる。	講義		◎	◎	◎	◎	○	△			🌸	
JX002000	憲法・統治機構Ⅱ	全員履修	1年	憲法の統治機構に関する基本的な知識をえることができる。	講義		◎	◎	◎	◎	○	△			🌸	
JX002100	行政法総論Ⅰ	選択	2年	行政法総論に関する重要な法的知識を習得するとともに、行政実務を中心として現実社会における行政法の問題状況についての法的処理・解決能力を獲得することができる。	講義		○	◎	◎	◎						
JX002200	行政法総論Ⅱ	選択	2年	行政法総論に関する重要な法的知識を習得するとともに、行政実務を中心として現実社会における行政法の問題状況についての法的処理・解決能力を獲得することができる。	講義		○	◎	◎	◎	△		△			

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	主たる言語用	学習・教育目標との関連						国際理解	地域貢献	日本理解	
								①	②	③	④	⑤	⑥				
公法部門	JX002300	行政救済法	選択	3年	行政救済法に関する重要な法的知識を習得するとともに、行政実務を中心として現実社会における行政救済法の問題状況についての法的処理・解決能力を獲得することができる。	講義		◎	◎	◎							
	JX002400	行政法各論	選択	3年	地方自治法及び公務員法制に関する重要な法的知識を習得するとともに、行政実務を中心として現実社会における地方自治等をめぐる法的問題状況についての処理・解決能力を獲得することができる。	講義		○	◎	◎							
	JX002500	租税法Ⅰ	選択	3年	税法の基本を全般的に理解し、税に関するニュースを自分で理解するとともに、納税に関して正確な知識に基づいて正しい判断を下すことができる。また、税務に携わる専門家になるための素地を身につけることができる。	講義		○	◎	◎							
	JX002600	租税法Ⅱ	選択	3年	税法の基本を全般的に理解し、税に関するニュースを自分で理解するとともに、納税に関して正確な知識に基づいて正しい判断を下すことができる。また、税務に携わる専門家になるための素地を身につけることができる。	講義		○	◎	◎							
	JX002700	国際法総論Ⅰ	選択	2年	国際社会における国際法の基本的な意義と機能を理解するとともに、国際法の基本部分に関する主要な国際事例・判例や学説についてその概要を説明することができる。	講義				○	○	◎		◎			
	JX002800	国際法総論Ⅱ	選択	2年	国際社会における国際法の具体的な作用を把握するとともに、関連する主要な国際的事例や国際判例についてその概要を説明することができる。	講義				○	○	◎		◎			
	JX002900	国際法各論	選択	3年	国際法の具体的な解釈適用のあり方について理解するとともに、関連する主要な国際的事例や国際判例についてその概要を説明することができる。	講義				○	○	◎		◎			
	JX003000	国際組織法	選択	3年	国際社会における国際組織の法的位置づけを把握し、「国際の平和および安全の維持」における国際組織（特に国際連合）の意義と役割について理解することができる。	講義				○	○	◎		◎			
	JX003100	刑法総論Ⅰ	選択	2年	犯罪と刑罰に関する一般原則について、その意義や役割を理解し、刑事実体法に関する基本知識や基本的な考え方を習得できる。	講義		○	◎	◎	◎						
	JX003200	刑法総論Ⅱ	選択	2年	刑法総論におけるさまざまな議論を刑法総論全体との関係を意識して理解することにより、刑法総論に関する法的問題を解決するための基礎的能力を習得できる。	講義		○	◎	◎	◎						
	JX003300	刑法各論Ⅰ	選択	3年	わが国の刑罰法規に規定される犯罪のうち、個人的法益に対する罪の成立要件に関する基本的な知識や考え方を習得できる。	講義			◎	◎	◎						
	JX003400	刑法各論Ⅱ	選択	3年	わが国の刑罰法規に規定される犯罪のうち、社会的法益および国家的法益に対する罪の成立要件に関する基本的な知識や考え方を習得できる。	講義			◎	◎	◎						
	JX003500	刑事訴訟法Ⅰ	選択	3年	犯罪捜査に関する手続の流れやそこで生じる問題を理解し、刑事手続の目的や捜査手続に関する基本的な知識や考え方を習得できる。	講義			○	○	◎						
	JX003600	刑事訴訟法Ⅱ	選択	3年	公判および証拠法に関する基本原則や手続の流れ、および、そこで生じる問題を理解し、公判手続および証拠法に関する基本知識や基本的な考え方を習得できる。	講義			○	○	◎						
	JX003700	刑事政策Ⅰ	選択	3年	刑事政策および刑罰等の犯罪対策に関する基礎知識および考え方を理解し、刑事法制に対する基本的な視座を習得できる。	講義			○	◎	○						
JX003800	刑事政策Ⅱ	選択	3年	犯罪者処遇等の犯罪対策に関する基礎知識および考え方を理解し、犯罪及び犯罪者対策に対する基本的な視座を習得できる。	講義			○	◎	○							
私法部門	JX003900	民法総則Ⅰ	必修	1年	民法総則の重要な制度を重点的に理解し、学生が自分で勉強する際の基礎知識を習得する。	講義		○	◎	◎	◎						
	JX004000	民法総則Ⅱ	必修	1年	民法総則の重要な制度を重点的に理解し、学生が自分で勉強する際の基礎知識を習得する。	講義		○	◎	◎	◎						
	JX004100	物権法	選択	2年	講義を通して、物権法の効力や物権法をめぐらる問題に対する解釈する能力が身につくようになることを本講義の目標とする。	講義			◎	◎	◎						
	JX004200	担保物権法	選択	2年	担保物権法の重要論点について理解することを目標とする。	講義			◎	◎	◎						
	JX004300	債権法Ⅰ	選択	2年	債権総論の重要な制度を重点的に理解し、学生が自分で勉強する際の基礎知識を習得する。	講義			◎	◎	◎						
	JX004400	債権法Ⅱ	選択	2年	債権総論における重要論点について理解することを目標とする。	講義			◎	◎	◎						
	JX004500	契約法Ⅰ	選択	1年	身近な例を通して学習していき、契約と民法に興味を持ち、それを実生活で活用することができるようにするのが本講義の目的である。	講義			◎	◎	◎						
	JX004600	契約法Ⅱ	選択	2年	民法第三編「債権」第二章「契約」第二節「売買」から第十四節「和解」（555条から696条）の典型契約とこれらに関する民法他の規定、特別法の知識を習得することを目標とする。	講義				◎	◎	◎					
	JX004700	不法行為法	選択	2年	事務管理・不当利得・不法行為をめぐらる重要論点を理解することを目標とする。	講義			◎	◎	◎						
	JX004800	家族法	選択	1年	家族法の重要な制度を理解し、学生が自分で勉強する際の基礎知識を習得する。	講義			◎	◎	◎						
	JX004900	相続法	選択	2年	相続法の重要な制度を理解し、学生が自分で勉強する際の基礎知識を習得する。	講義			◎	◎	◎						
	JX005000	民事訴訟法Ⅰ	選択	3年	民事訴訟法の基本的な概念について理解する。民法や会社法を新たな角度から復習する。	講義		○	○	○	◎						
	JX005100	民事訴訟法Ⅱ	選択	3年	「民事訴訟法Ⅰ」の知識を前提に、訴え提起の準備から民事訴訟の審理および裁判に至る過程において生じる実務的な事柄について学ぶ。	講義		○	○	◎	◎						
	JX005200	民事執行法	選択	3年	民法と民事訴訟法の基本的理解を前提として、強制執行制度の理解を目的とする。	講義		○	○	○	◎						
	JX005300	倒産法	選択	3年	倒産法全体を概観する。とくに、破産手続の基本的枠組みと全体統をつかむことを目的とする。	講義		○	○	○	◎						
	JX005400	企業取引法	選択	2年	商法を中心に企業取引に関する基礎的な知識および基本的な思考法を習得する。	講義			◎	○	◎	△	△				

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	主する言語	学習・教育目標との関連						国際理解	地域貢献理解	日本発信
								①	②	③	④	⑤	⑥			
	JX005500	会社法Ⅰ	選択	2年	会社法の専門知識や会社における利害関係者の利害調整のルールを修得し、企業実務における会社法の役割を理解することができる。	講義		◎	○	◎	△	△				
	JX005600	会社法Ⅱ	選択	2年	会社法の専門知識や会社における利害関係者の利害調整のルールを修得し、企業実務における会社法の役割を理解することができる。	講義		◎	○	◎	△	△				
	JX005700	支払決済法	選択	2年	手形法・小切手法を中心に、支払決済に関する基礎的な知識および基本的な思考法を習得する。	講義		◎	○	◎	△	△				
	JX005800	金融商品取引法	選択	3年	金融商品取引法の知識をふまえて、投資家と発行会社・証券会社との間の情報格差が引き起こす諸問題を法的に分析する力を身につけることができる。	講義		◎	○	◎	△	△				
	JX005900	保険法	選択	3年	保険法に関する基礎的な知識および基本的な思考法を習得する。	講義		◎	○	◎	△	△				
	JX006000	国際私法	選択	3年	国際私法に関する基本的な考え方を理解することができるようになる。また、身近な国際私法問題について多角的な視野から分析する力を身につけることができる。	講義	○	◎	○	○	◎	△	◎			
	JX006100	国際取引法	選択	3年	国際取引に関する基礎的な知識を身につけることができる。	講義		◎	○	○	◎	△	◎			
	JX006200	労働法Ⅰ	選択	3年	労働基準法を中心に労働法の知識を身につけ、労働に関するさまざまなトラブルについて法的にどう解決すればよいかを考えることにより、問題解決能力を身につける。	講義	○	◎	○	◎						
	JX006300	労働法Ⅱ	選択	3年	労働基準法や労働組合法の基本的な内容を理解し、労働に関するさまざまなトラブルについて法的にどう解決すればよいかを考えることにより、問題解決能力を身につける。	講義	○	◎	○	◎						
	JX006400	社会保障法	選択	3年	医療保険、年金保険、労働保険、介護保険といった社会保険の各制度について、その仕組みや特徴を理解することができる。	講義	○	○	◎	○						
	JX006500	社会福祉法	選択	3年	生活保護や社会福祉制度の仕組みやその特徴を理解することができる。	講義	○	○	◎	○						
	JX006600	経済法Ⅰ	選択	3年	独占禁止法の基礎の習得に努める。	講義		◎	◎	◎						
	JX006700	経済法Ⅱ	選択	3年	独占禁止法の応用問題とその他の経済規制法および国際経済法について理解することができる。	講義		◎	◎	◎	○					
	JX006800	知的財産法	選択	3年	知的財産法を基本的レベルで理解し、関連する問題について法的に検討できる力を身につける。	講義		○	○	◎						
JX006900	消費者法	選択	2年	消費者被害の現状を把握し、その法的解決方法を理解することができる。	講義		○	○	○							
国際部門	JX007000	海外法政セミナー入門	選択	1年	海外の法と政治文化について基礎知識を修得し、語学力を高めることができる。	講義		△	△	○	○	◎	△	◎		
	JX007100	海外法政セミナーⅠ	選択		海外の法と政治について理解を深め、語学力を高めることができる。	実習		○	○	◎	◎	◎	○	◎		
	JX007200	海外法政セミナーⅡ	選択		海外の法と政治について理解を深め、語学力を高めることができる。	実習		○	○	◎	◎	◎	○	◎		
	JX007300	海外法政セミナーⅢ	選択		海外の法と政治について理解を深め、語学力を高めることができる。	実習		○	○	◎	◎	◎	○	◎		
	JX007400	海外法政セミナーⅣ	選択		海外の法と政治について理解を深め、語学力を高めることができる。	実習		○	○	◎	◎	◎	○	◎		
	JX007500	外国事情Ⅰ	選択		外国の事情を理解して、その国の法と政治について理解を深め、語学力を高めることができる。	実習		△	△	△	△	◎	○	◎		
	JX007600	外国事情Ⅱ	選択		外国の事情を理解して、その国の法と政治について理解を深め、語学力を高めることができる。	実習		△	△	△	△	◎	○	◎		
	JX007700	外国事情Ⅲ	選択		外国の事情を理解して、その国の法と政治について理解を深め、語学力を高めることができる。	実習		△	△	△	△	◎	○	◎		
	JX007800	外国事情Ⅳ	選択		外国の事情を理解して、その国の法と政治について理解を深め、語学力を高めることができる。	実習		△	△	△	△	◎	○	◎		
	JX007900	海外インターンⅠ	選択		海外インターンシップを通して、その国の法と政治について理解を深め、語学力を高めることができる。	実習		△	△	△	△	◎	○	◎		
	JX008000	海外インターンⅡ	選択		海外インターンシップを通して、その国の法と政治について理解を深め、語学力を高めることができる。	実習		△	△	△	△	◎	○	◎		
	JX008100	海外インターンⅢ	選択		海外インターンシップを通して、その国の法と政治について理解を深め、語学力を高めることができる。	実習		△	△	△	△	◎	○	◎		
	JX008200	海外インターンⅣ	選択		海外インターンシップを通して、その国の法と政治について理解を深め、語学力を高めることができる。	実習		△	△	△	△	◎	○	◎		
	JX008300	政治学Ⅰ	選択	1年	現代政治を理解するために必要な政治学の理論や概念を習得する。	講義		◎	◎	○			○			
JX008400	政治学Ⅱ	選択	2年	現代政治の様々な論点や問題について、政治学や比較政治学、政治理論等の枠組みを参照しつつ理解を深める。	講義		◎	◎	○		○		○			
JX008500	行政学Ⅰ	選択	1年	①行政に関する基礎知識(制度、歴史、学説)を身に付け、行政の基礎的な理解を深める。②行政に関する諸制度の運用実態や機能、社会的影響を説明する理論仮説や解釈を理解し、その妥当性を検討して一定の推論を導くことができる。	講義		◎	◎	○							
JX008600	行政学Ⅱ	選択	1年	①行政に関する基礎知識(制度、歴史、学説)を身に付け、行政の基礎的な理解を深める。②行政に関する諸制度の運用実態や機能、社会的影響を説明する理論仮説や解釈を理解し、その妥当性を検討して一定の推論を導くことができる。	講義		◎	◎	○							
JX008700	日本政治論	選択	1年	①日本政治に関する基礎知識(制度、歴史、学説)を身に付け、日本政治の基礎的な理解を深める。②日本の政治・行政に関する諸制度の運用実態や機能、社会的影響を説明する理論仮説や解釈を理解し、その妥当性を検討して一定の推論を導くことができる。	講義		○	○	○		△		○		☆	
JX008800	日本政治思想史	選択	1年	日本政治における、特に近代以降の主要な政治思想家の主張・学説の内容と論理、その政治的意義について基本的な理解を深める。	講義		○	○	○		△		○		☆	
JX008900	近現代日本政治史	選択	1年	近現代の日本政治における通史と基礎的諸事項を理解し、歴史的な因果関係、国際政治と国内政治の相互作用についても客観的に把握する視座を持つことができる。	講義		○	○	○		△		○		☆	
JX009000	国際政治学Ⅰ	選択	2年	国際政治学の分析枠組みの習得に努める。	講義		○				◎		◎			

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	主たる言語	学習・教育目標との関連						国際理解	地域貢献	日本発信	
								①	②	③	④	⑤	⑥				
行政・政治部門	JX009100	国際政治学Ⅱ	選択	2年	国際政治学の知見を踏まえて、実際の国際政治の理解に努める。	講義		○				◎					
	JX009200	比較政治学Ⅰ	選択	2年	比較政治学の分析枠組みを参照しながら、欧米諸国、とりわけアメリカやカナダの政治について理解を深める。	講義		◎	◎			○		◎			
	JX009300	比較政治学Ⅱ	選択	3年	比較政治学の分析枠組みを参照しながら、欧米諸国、とりわけヨーロッパ諸国の政治について理解を深める。	講義		◎	◎			○		◎			
	JX009400	近現代ヨーロッパ政治史	選択	2年	ヨーロッパ政治史の基礎の習得に努める。	講義			○	○	△	○		○			
	JX009500	ヨーロッパ政治思想史	選択	2年	ヨーロッパ・北米における歴史上の主要な政治思想家の主張・学説の内容と論理、その政治的意義について基本的な理解を深める。	講義			○	○	△	○		○			
	JX009600	現代政治理論	選択	2年	自由・平等・公共性などの規範的価値、権力や民主政のあるべき姿など現代政治の基盤をなす様々な理論や論争について、その内容と論理を理解し、公共政策上の含意と適切に結び付けることができる。	講義			○	○	△	○		○			
	JX009700	自治体職員論	選択	3年	自治体職員に関する制度、働き方、組織管理、人事管理等について包括的に理解する。	講義			○	◎	○				○		
	JX009800	地域政策概論	選択	3年	現代の地域や地方自治に関する諸課題及び政策を扱い、公共的問題の解決に向けた考え方を身につける。	講義			○	◎	○				◎		
	JX009900	地方自治論Ⅰ	選択	2年	地方自治全般に関する基礎的知識（歴史、理論、制度）を習得する。	講義		○	○	◎	○				◎	◎	
	JX010000	地方自治論Ⅱ	選択	2年	地方自治体の実際の活動（政策形成、予算編成、行政改革等）についての知識を習得する。	講義		○	○	◎	○				◎	◎	
	JX010100	公共政策論Ⅰ	選択	3年	公共政策の性質、形成、実施、評価等に関する主要な理論や考え方を理解する。	講義		○	○	◎	○				○		
	JX010200	公共政策論Ⅱ	選択	3年	公共政策の形成、実施に関する制度や事例の学習を通して、行政の活動の範囲について理解する。	講義		○	○	◎	○				○		
JX010300	計量政治行政分析Ⅰ	選択	2年	地方自治体や国の政策、政治、その背景となる地域の構造や特徴を分析するための方法について理解を深める。	講義			○	○	○	△	○					
JX010400	計量政治行政分析Ⅱ	選択	2年	地方自治体や国の政策、政治、その背景となる地域の構造や特徴を分析するうえでの実践的スキルを習得する。	講義			○	○	○	△	○					
演習部門	JX010500	入門演習	全員履修	1年	法学・政治学の分野で必要となる読む・書く・話す（議論する）ための基礎的な力を身につけることができる。	演習		○	△	△	△	△	◎				
	JX010600	基礎演習Ⅰ	選択	1年	資料や判例を調査し、それらを論理的に分析・検討して、文章にまとめ、あるいは、口頭で他人に伝え、法的議論をするために必要となる基礎的な能力を習得できる。	演習		○	○	○	○	○	◎				
	JX010700	基礎演習Ⅱ	選択	2年	資料や判例を調査し、それらを論理的に分析・検討して、文章にまとめ、あるいは、口頭で他人に伝え、法的議論をするために必要となる基礎的な能力を習得できる。	演習		○	○	○	○	○	◎				
	JX010800	基礎演習Ⅲ	選択	2年	資料や判例を調査し、それらを論理的に分析・検討して、文章にまとめ、あるいは、口頭で他人に伝え、法的議論をするために必要となる基礎的な能力を習得できる。	演習		○	○	○	○	○	◎				
	JX010900	外国法政研究Ⅰ	選択	2年	外国の法学・政治学に関する知識・考え方を理解できると同時に、法学・政治学の分野に関する語学力を高めることができる。	演習				△	△	△	◎		◎		
	JX011000	外国法政研究Ⅱ	選択	2年	外国の法学・政治学に関する知識・考え方を理解できると同時に、法学・政治学の分野に関する語学力を高めることができる。	演習				△	△	△	◎		◎		
	JX011100	外国法政研究Ⅲ	選択	3年	外国の法学・政治学に関する知識・考え方を理解できると同時に、法学・政治学の分野に関する語学力を高めることができる。	演習				△	△	△	◎		◎		
	JX011200	外国法政研究Ⅳ	選択	3年	外国の法学・政治学に関する知識・考え方を理解できると同時に、法学・政治学の分野に関する語学力を高めることができる。	演習				△	△	△	◎		◎		
	JX011300	外国法政研究Ⅴ	選択	4年	外国の法学・政治学に関する知識・考え方を理解できると同時に、法学・政治学の分野に関する語学力を高めることができる。	演習				△	△	△	◎		◎		
	JX011400	外国法政研究Ⅵ	選択	4年	外国の法学・政治学に関する知識・考え方を理解できると同時に、法学・政治学の分野に関する語学力を高めることができる。	演習				△	△	△	◎		◎		
	JX011500	判例研究（憲法）	選択	2年	憲法判例の研究を通じてさまざまな憲法問題を考えていけるようにする。	演習		◎	◎	○	◎	○	◎				
	JX011600	判例研究（民事法）	選択	2年	民法や民事手続法の基本判例の学習を通じて、民事の法律学全体についての理解を深めることができる。	演習		○	◎	△	◎		◎				
	JX011700	判例研究（刑事法）	選択	2年	刑法総論及び各論の重要項目に関する判例の動向を把握し、併せてその基礎にある事案から犯罪の諸要素への適切なあてはめを行なうことにより、刑法の講義科目で習得した知識を具体的事例に即して応用することができる。	演習				△	◎	◎	◎				
	JX011800	模擬裁判Ⅰ	選択	3年	裁判制度に関する知識を習得し、それを前提とした実践的思考力および企画力などが習得できる。	演習		◎	△	◎	◎		○		◎		
	JX011900	模擬裁判Ⅱ	選択	3年	裁判制度に関する知識を習得し、それを前提とした実践的思考力および企画力などが習得できる。	演習		◎	△	◎	◎		○		◎		
	JX012000	専門演習Ⅰ	選択	3年	それぞれの専門分野における基本的な知識や考え方を理解できると同時に、資料の調査・分析、判例や学説を整理・検討、法的論証、さらには、それらを文章にまとめ、口頭で他人に伝え、法的議論を行うための能力を習得できる。	演習			◎	◎	◎	◎	◎				
	JX012100	専門演習Ⅱ	選択	4年	それぞれの専門分野における基本的な知識や考え方を理解できると同時に、資料の調査・分析、判例や学説を整理・検討、法的論証、さらには、それらを文章にまとめ、口頭で他人に伝え、法的議論を行うための能力を習得できる。	演習			◎	◎	◎	◎	◎				
JX012200	卒業論文	選択	4年	それぞれの専門分野における知識や考え方を正確に理解できると同時に、論理的な思考能力と考察力を習得できる。	卒業論文・研究			◎	◎	◎	◎	◎					
特殊部門	JX012300～JX014200	法学学特殊講義	選択	2年	法学に関する知識・考え方に対する理解を、より発展・深化させることができる。	講義		○	○	○							
	JX014300～JX016200	政治学特殊講義	選択	2年	政治学に関する知識・考え方に対する理解を、より発展・進化させることができる。	講義		○	○	○							